

エネルギー供給編

エネルギーは人間の生活に必要不可欠です。石器時代のエネルギーは、木々と灌木から得られる薪と、昼間だけ利用できる太陽光でした。文明が発達すると大量の化石燃料と電力がエネルギーに加わり、生活にも普及して利便性が大きく高まりました。人口が増えて集積密度が高まると、集合住宅が発達して寒冷地では地域熱供給が普及しました。エネルギー供給編では、第1部で世界と日本のエネルギー構成を概説し、第2部と第3部で燃料供給と電力供給を解説します。

第1部 エネルギー構成

世界と日本の一次エネルギー消費量、燃料や電力などの二次エネルギー消費量、二次エネルギーに占める電力の割合、一人当たりの電力消費量、燃料別の発電設備容量と発電量、化石燃料の依存度、太陽光と風力発電の設備容量を示します。